

シンポジウム参加者からの感想・アリスセンターへのメッセージ

	シンポジウムのご感想をご記入ください	アリスセンターにメッセージをお寄せください。	所属・お名前
1	とても勉強になりました。	NPOの社会的役割は、まだまだ大きいと思います。	フリーランス・高馬卓史
2	NPOも、市民社会もまだまだ途上である事、闘うべき時に戦えるチカラを蓄えることという、川崎さんのメッセージが最後に聞いてよかったです！ありがとうございました。 午前中のセッションとか、聴けなかったので、アーカイブが聴きたいです。	ぜひ、様々な活動の記録を残していただき、アリスを伝説にしないでください。これから、それを必要とする若者がたくさん出てくると思います。	NPO法人街カフェ大倉山ミエル
3	目(耳)が離せない話ばかりで、オンラインなのに“ながら参加”できず、終始集中してしまいました。	当たり前のようにずっとそこにある、有り続けると思っていたので、解散はとてもショックです。30の技術を継承し、今の時代、これからの時代の市民社会を牽引する新たなアリスの誕生を待ち望んでいます。	
4	播磨氏の基調講演とセッション2の議論が特に興味深かったです。「支援」ではなく一緒に何ができるかを考えるのが、運動体として大事だと思いました。最後に川崎さんが言われた「参加のフレームを作るだけでは権力者の思うつぼ」というご主旨の発言が刺さりました。伊吾田さんの言われた「みんなの幸せが自分の幸せ」と思える共生社会にするには何が必要か、日々、悩んでいます。	トヨタ財団の政策提言力アッププロジェクトに(当時は神戸新聞勤務でした)で御一緒させていただき、おおいに刺激を受けました。解散は寂しい限りですが、次の始まりでもあります。最後にこのような催しを企画してくださって、本当にありがとうございました。	NPO政策研究所 相川康子
5	35年前の立ち上げは時代を動かす流れでしたが、その後にNPO化する選択は第三者の立場で、現時点で振り返ってみるとですが、(活動内容との照合では)好ましい選択ではなかった。時代に流されたのではないかと思えてきます。 播磨さんの基調講演は刺激を受けました。良かったです。誰を市民と想定するのか、ソーシャルチェンジを考える時を迎えたのだと思います。「たんぼぼの家」の活動は詳細には存じ上げませんが、学んでみようと思います。	解散を前に経験を共有するシンポジウムの開催、お疲れ様でした。意外な集まりでしたが貴重な発信でした。有意義な機会を与えていただき、ありがとうございました。	
6	第1セッションのみの参加だったのですが、市民活動の原点、それは地域で生活している人々の声なのだと思えてきました。	一時期でしたが、事務局スタッフとして参加させていただいておりました。 神奈川、横浜という地域で何ができるのか自問自答の日々だったように思い出しますが、そこでの様々な人との出会いが、確かに、今の私の一部になっていると感じております。 ありがとうございました！！	

7	長時間でしたが、あっという間でした。ご準備大変だったと思います。感謝です。	これまで、本当にありがとうございました。 npo法人の意義を改めて考えました。また、法人でも個人でも、生活をより良いものにするために情報発信、提案していくことの必要性、其のために人々が集まる場をつくっていくことの大切さを感じました。 地域で、アリスの若葉を育てて行きたいと思います。	ぐらす・かわさき、みた・まちもりカフェ 町田浩子
8	アリスセンターの最後を飾るにふさわしい会だったと思います。途中で音声が切れるトラブルも含めて、アリスらしい。たくさんの人が集まってくださって良かったです。	準備をした方々、当日運営した方々、そして、アリスを最後まで支えてくださった方々に感謝です。	川村研治
9	セッション2から3までのオンライン参加でしたが、程よく音声トラブルも発生して臨場感は十分でした。これまでの活動の振り返りだけではなく将来に向けたお話をたくさん聞けて、これからの市民社会に目を向けることができました。	長らく会員として名を連ねておりました。事務局長をはじめ理事の皆さんが近年の諸問題に対応されていたのは本当にご心労だったと思います。その昔、入口がわかりにくいビルにあった事務局には何度かお伺いして、そこに居合わせた人たちの熱気に当てられた経験は、その後の仕事や人付き合いの糧になりましたことを感謝いたします。	神奈川県庁 山田修
10	<p>・当日集っていた官・民・市民の方達のネットワーク自体が、アリスの培ってくれた財産だなと思いました。ノンプロフィットだからこそそのプロフィットとの向き合い方、「想い・ミッション」ベースだからこそその組織性や効率性・労働環境などの仕組みづくり…といった諸刃の面に対する向き合い方を、自分も含めてこれからも模索していくのかなと思いました。</p> <p>・NPOや市民活動の強みは「想い」や「ミッション性の強さ」（外側に向いている）、弱さとしては労務管理（ドメスティック、内部に目が向いていない）・業務管理・プロジェクトの収支管理・キャリアアップのサポート。強みである「想いの強さ」をむしろどうマネジメントしていくか（やりがいさく取にならないように、燃えつきにならないように）かなと思いました。</p> <p>・一方でアリスの挑戦してきたことは、自由かつ達で、「いざという時に戦える」というスピリッツととしてはとても意義深いと思います。</p>	<p>・シンポジウムをふまえて、改めてアリスが培ってくれた成果と課題を整理し、次の時代に提起する形で引き継いでいけると良いのではないかと思います。また、当日学ばせてもらっていた学生や若者が、数十年たって社会の中核を担うという時期も迎えつつあるので、アリスに蒔いていただいた種は、色々な形でミライにつながってはいると思います。</p> <p>・約20年前にアリスセンターでインターンをさせて頂いて、その後就職先を考えた時に、行政か企業か、NPOか…で迷ったことを思い出しました。その時に、川島さんから「NPOは、いろいろな面で”仕組み”が弱いから、まずは民間企業に行って、5年、10年働いて、そこで学んできたことを将来NPOの世界に持ち帰ってほしい」と言ってもらいました。</p> <p>・民間企業で15年以上働いてきた中では、NPOに”足りないもの”をむしろNPOの世界以外の人（プラス、アリスなどにも理解のある人に）指摘してもらって補っていった方が土台作りとして『急がば回れ』…で…有効なのではないかと思いました。</p>	田口香子（元インターン生）

11	<p>大変有意義なシンポジウムでした。途中でトラブルはありましたが、会場とオンラインの皆様がトラブルの間も互いを気遣いながら進められる雰囲気、安心するような気持ちで参加していました。また、政治と活動、市民活動の今後についてなど「ぶっちゃけどうなの？」という話題もあり、非常に面白かったです。「声を上げる」ことの重要性が認識されつつある現在の機運が醸成され、市民が自分自身の力や責任をポジティブに自覚し、社会参加がしやすい世の中になってくれればと思っています。そのためにも活動に従事していらっしゃる方と一般の方とのつながりが出来ること、「声を上げる」だけでなく「解決に動く」ことのしんどさも乗り越えていけるつながりが続くことが出来ればと感じます。今回、シンポジウムに登壇され、参加された方が「声を上げ続けてきた」からこそ、今後も社会に果たす役割は大きいのではないかとひとしと感じました。そのうえでも、今回まとめられていた30の技術・14の提言は今後も役に立つものだと感じます。個人的には、これらの技術や提言について、市民活動をしていらっしゃる団体に一般化できるのか、これらを実現するコツやテクノロジー、人材は？など深堀したいなと思います。一方でNPOに忌避感さえ出てきている現在、チャットにもあったように個人が自由に活動できる機会を作ることも重要だという気付きもありました。活動をしている、していないに関わらず、多くの人で活動や参加の多様化について考えていかなければならないと感じます。</p>	<p>90年代半ばに財団職員となり、まちづくりに関わるなかで「アリスセンター」の存在を知って、市民活動で先駆的な活動をしていらっしゃることを知って、とても驚いたことを今でも覚えています。以来、多くの活動に伴走して支えられてきたことと思います。解散されることが大変残念ですが、皆様の活動の思い、ノウハウ、ネットワークが仲間の方に引き継がれ、活動の灯を絶やさないように微力ながら応援したいと思っています。</p>	<p>慶応義塾大学大学院・井上絵理</p>
12	<p>アリスセンターばかりではなく様々なNPO活動の状況が、時代の変化とともに困難度を深めている印象を受けた。 皆さんからの関心が強かったのが、NPOと政治活動、自治体職員との関係だったが、この2点は、無関係でなく、市長の政治姿勢や議会の力関係が、NPOや市民活動への姿勢に表れる面があると思う。</p>	<p>長い間、神奈川のNPO活動を支えていただき本当にありがとうございました。いままでのアリスセンターの機能がどう継続されるのか？または違った形でだれに引き継がれるのかを分かりやすく説明できるとよいと思う。</p>	<p>子育て広場全国連絡協議会</p>
13	<p>アリスセンター35年の振り返りにふさわしい集いでした。</p>	<p>アリスセンターの解散は一つの使命の終わりなのでしょう。一つの時代の終わりなのでしょう。セッション3で語られた、NPOや市民活動が自由に活動できにくい状況、環境などの問題提起が欲しかった。 選挙結果、かながわ(特に川崎)へ維新が多くの議席を取ったことに悲観的になっています。</p>	<p>一社)川崎利宝自治研究センター 板橋洋一</p>
14	<p>とても「市民社会」のあり方、現状を考えさせられました。</p>	<p>神奈川にアリスセンターがあって本当に市民の一人として“ぜいたく”だったのだとあらためて考えることができました。</p>	<p>(社福)いきいき福祉会 小川泰子</p>

15	<p>バトンタッチというキーワードに惹かれて参加しました。今日の知見がぜひ多くの方に引き継がれることを願っています。アーカイブ拝見したいです。</p>	<p>「経験」の大切さを感じました。最後の川崎さんの「たたかう力をたくわえる」というメッセージが強烈でした。我々(30-40's)はたたかう経験が圧倒的に不足しており、また作法もわかりません。たあとる通信のあちこちにそのエッセンスを感じましたが、止まっている10年の間にたたかい方(や時代)が変わっています。2020年代のたたかい方をアップデートしていきたいですし、市民社会を代表する政治家が出てくる(育てる)必要性も。</p>	<p>NPO法人森ノオト 北原</p>
16	<p>終日参加しました。非常に学びが多く、なんだか元気がでてきてしまう会だと思いました。自律と連携について、市民社会について、もっとよく考え、色々な人と議論、対話をしていければと感じました。</p>	<p>貴重な機会をありがとうございました。</p>	
17	<p>35年間の厚みと軽やかさを感じる歴史の一瞬に立ち会えた幸せを感じています。ネットワーク(ハードもソフトも)の難しさを体験する場面も…(笑)。</p>	<p>一人一人の個性がアリスセンターを創って来たのですネ！！”アリスセンター”はこれからも続きます。</p>	